

第1回櫛引地域振興懇談会での提言、意見、質問等（後日提出分含む）

1 提言

- ・庄内柿の振興策をお願いしたい。（収穫体験⇒樹上脱渋・甘柿の振興、干し柿加工）
- ・雨よけハウスがない樹種（りんご・かき）の収穫体験には、雨対策が必要なのでは。
- ・若手農業者や新規就農者、研修生などが組織に所属して、必要に応じて農作業を手伝い、ゆくゆくは、組織が一旦農地を預かり、それを個人につないでいく……みたいな組織（団体）があればいいのでは。
- ・赤川はアユ釣りのメッカ。それを有効利用した施策を考えられないか
- ・櫛引地域での生産品をすべてブランド化。例えば「くしびき」「kushibiki」のロゴ・キャラクター設定なども有効では。
- ・柏戸が櫛引出身ということを知らない人が多いように思います。柏戸の名を冠した、例えばマラソンや相撲大会などを企画できないか。あと、子どもが参加するイベントも。子どもが動けば親も動き活性化につながるのでは。鼓笛隊なども可愛らしくきつと面白いのでは。
- ・これからは観光が重要。SNSやホームページを使い、全国や世界に発信することが必要なのでは。（インバウンド対応）
- ・山添校廃校後の跡地利用を考えておくべきである。
- ・“子どもの時代に外で元気に楽しく遊んだという経験をさせたい。そして、大人になって親になった時に、ふるさと（櫛引・鶴岡）で自分の子ども達を思いっきり遊ばせたい。だからUターンしようと思える場所を作りたい。たらのき代スキー場や鍋っこ広場をそんな風に思える場所にできないだろうか。たとえば〇〇が日本一のすべり台、ふわふわドームという巨大なトランポリン設置、自然を活かした遊び場を作れたらいいと思う。”

2 意見

- ・果樹（農業）振興について、一部の果樹生産地域のみへの支援でなく、庄内柿や園芸など広域的に横断的な支援策が必要ではないか。
- ・フルーツの里が一部の地域に偏っているのでは、という話ですが、一部でいいと感じています。その人たちが利益を上げ後継者も確保でき、それに付帯して新たな事業が出てくるようなことになれば、他の地域でも刺激を受け立ち上がる人が出てくるのではないかと。それが無いようでは地域の衰退につながると思います。
- ・農家民宿の活性化
- ・伝統食に必要な山菜の採り手が少なくなってきて心配である。
- ・老人クラブを代表して出席していますが、加入する人が減ってきていることが課題

です。行政からも応援いただきながら（補助金のアップ）会員を増やすことができれば地域の活性化にもつながるのではないかと思います

- ・ 婦人会、若妻や青年組織が無くなった地区があり、地域内の組織が壊れてきて憂慮されることだと思います。
- ・ 公民館活動においても、役員のなり手がなかなか見つからなく、同じ顔ぶれで続いています。これを何とか回していく方法はないものか。
- ・ 高齢者の免許返納でバス乗車券などがもらえませんが、バス停までの交通機関がありません。是非、二次交通のことも検討していただきたい。
- ・ 毎年子どもが減少している状態で、親の負担が大きくなってきています。学校や地域の役員を同じ人が何年も担当している例が多々あります。子どもたちも、大人数で集団登校ができなくなってきています。これまでは、上級生が下級生を見守りながら通学していましたが、数年もするとこれが難しくなってきます。
- ・ 移住に力を入れるべきである。
- ・ 少子高齢化による各行事の縮小化
- ・ 女性の公民館活動への積極的参加。男女共同参画による公民館組織への登用が必要。
- ・ 各地区に、民生委員を補助する「福祉委員」（仮称）を世帯数や要支援者の数に応じて配置できるような仕組みを検討していただきたい。

3 質問

- ・ フルーツ里のブランド化とは、定義（目標、目的）が見えない、どういうブランド化を目指すのか
⇒ 櫛引のフルーツ全体が、顧客から信頼を獲得できて経営が安定することを目指すものです。
- ・ 櫛引を含めた市内（庄内）の観光コースを作りたいとずっと前から言っているが実現できていないのでは。
⇒ 観光協会の総会でも同様の話題が出され、席上、こちらからコースやパッケージを提案し、旅行会社などに積極的にPRしていくことになりました。
- ・ 例えば黒川は能があることにより人口を守ろうというような意識があるとか、何か特徴的なものがあれば次回以降の会議で教えていただけませんか。
⇒ 次回以降に回答。
- ・ 若い人からも意見を聞くということですが、地元に残った理由やどうしたらUターンしたくなるのかなど聞いていただけませんか。
⇒ 次回以降に回答。

鶴岡まちづくり塾櫛引グループのワークショップでの声

1. 櫛引（鶴岡）の良いところ

豊かな自然

山も海も近い。春夏秋冬がはっきり。四季折々の風景が楽しめる。
景色がのどか。夜景の見える場所が多い。
信号が少ない。災害が少ない。

食べ物

果物がたくさんある。米・野菜がおいしい。

歴史・文化

黒川能や伝統芸能が豊富。歴史的建造物がたくさん残っている。

観光

スキー場がある。温泉がたくさんある。観光するところが多い。

2. 櫛引（鶴岡）の問題点

遊び場

子どもが遊べる公園が少ない。安心して遊べる環境がない。
中高生が遊べる場所が少ない。

人・コミュニティ

保守的。未婚者が多い。地域行事が多過ぎ。空き家問題

環境

雪が多すぎる。暑いし寒い。
遅くまで開いている店がない。昔からのお店がやる気なさそう。

観光

PRが下手、PRが下手。県外からの認知度低い。お勧めの観光地が少ない。

交通

車がないと不便。バスの本数が少ない。
歩道がない所が多い。市街地を自転車で走りにくい。

雇用

働く所が少ない。県外に行った人が戻ってきたい！と思える魅力的な職場がない。

3. 理想のまち

きらきらしている、活気があふれる地域

PR

自分の住む町をみんながPRできるようなる
観光客を受け入れる施設があったらいいなあ
観光名所が増え、県外からの観光客UP！！

安心・安全

災害がない。安心、安全な地域を作る

自然学習体験

自然を生かした体験ができる場を作る。川の遊泳場。
小中学校、高校でもっと鶴岡の体験学習や自然めぐりをしたかった。

交通・道路

公共交通機関。
電柱がすくなく都市部へのアクセスが良い
自転車が走りやすい

雇用

様々な仕事があり若者が帰ってきやすいまち
働きたくなるような職場が増える

子ども

子どもが遊べる大きな遊具がある公園がほしい
子どもだけでも安心して遊べる環境になる
子どもたちがいろんなことをチャレンジできる
子どもが増える

その他

オーガニック農業が主
廃棄物からエネルギーを作る
要介護者が少ない
自分のやりたいことがやれる街

4. これからのためにできること

インターネットの高速化
図書館の PC 利用を可能にしてほしい

なにはともあれ PR

誇りの形成
地元への愛着 (U ターン者を増やす)

料理人が集まりたくなるまち →それを活かせるまちづくり

ゆ〜Town に 24 : 00 くらいまで開いている足湯カフェ
朝活のススメ→朝ごはんを出す店がほしい

デマンドバス (KCT のネットワークでデマンドバス予約運用)

鶴岡ブランドを作る
農家同士での話し合いの場を作り地域ブランド化をしていく
農と他職種とコラボ (別分野の若者との話し合いの場を作る)
通年農業の確立 (冬場に排熱利用農業)
農作物のアウトレット販売 (はじき果物の有効販売)
農作物の 6 次産業化
フルーツとお酒のコラボ商品を作る
お酒×果物×収穫体験 (各種フルーツを醸造してのお酒商品)
若い農業者で同じ志を持つ人が引っ張って高齢農業者をサポートしていく (ネット販売など)
同じ気持ちで地域が協力していく体制がほしい (サクランボ狩り受入も)
地産地消の農家レストランがもっとほしい
山菜料理などの料理コンテストをしてみてもいい

子どもたちに自然体験をさせる
自然体験+伝統芸能体験+食体験プログラムを作る

大人になってからの歴史勉強
アートフォーラムのからくり展おもしろかった。こういう企画をもっとしてほしい

地域のリーダーを使っていく